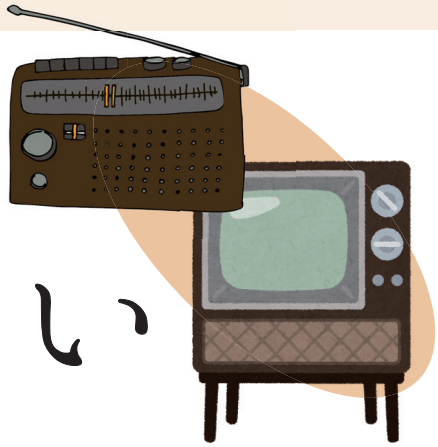
関西大学なにわ大阪研究センター
追手門学院大学笑学研究所 合同研究会

なにわ大阪の演芸放送と笑い



今回は、追手門学院大学笑学研究所と合同で、戦後在阪放送局の演芸放送と笑いについての研究会を開催いたします。なにわ大阪の笑いの発展には、戦前のNHK、戦後のラジオ、テレビ局の演芸番組が大きく影響しています。戦後から昭和30年代の笑い娯楽番組の黄金期を経て、なにわ大阪の笑いは全国的な笑いへと進化します。東京には見られない、なにわ大阪らしい笑いの放送について考察します。

2017年 10月7日(土) 13:00~17:00

参加無料

関西大学千里山キャンパス
なにわ大阪研究センター セミナー室

13:00~14:00 ●「テレビのエゴ！演芸を映像にすることとは？」
高垣伸博
追手門学院大学国際教養学部国際日本学科教授、同笑学研究所所長、元毎日放送プロデューサー

14:10~15:10 ●「現場から見た当世お笑い事情(仮題)」
村田 元 毎日放送報道局チーフプロデューサー

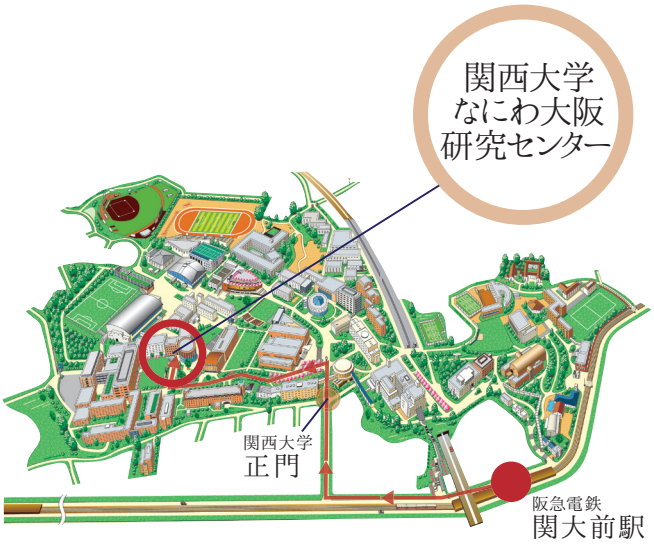
15:20~16:00 ●「戦後～昭和30年代のなにわ大阪の演芸放送」
～「公益信託高橋信三記念放送文化振興基金」助成研究の中間報告～
浦 和男 関西大学人間健康学部准教授

16:00~17:00 ● 質疑応答

定員 80名(先着順) **参加費** 無料

主催 関西大学なにわ大阪研究センター
追手門学院大学笑学研究所

お問合せ お申込み
関西大学
なにわ大阪研究センター
naniwa-osaka@ml.kandai.jp



本研究会は、平成28年度関西大学創立130周年記念特別研究費（なにわ大阪研究）研究代表：浦 和男 研究課題：なにわ大阪の「笑い」に関する調査と研究の研究成果公表と、「公益信託高橋信三記念放送文化振興基金」助成研究の中間報告の一環として開催するものです。